

## 少子化を見据えた学校規模の適正化・適正配置に係る 「基本的な方向性2」の具体化案について《アンケート集計結果》

令和6年10月 御浜町教育委員会

### 【基本的な方向性2】

統合する場合、通学距離が長くなるので、通学用のスクールバスを運行する。また、スクールバスを運行する場合は、できるだけ保護者に経済的負担をかけないように配慮する。

を具体化するための次の案について、賛成できると思う場合は「はい」、賛成できないと思う場合は「いいえ」を選択してください。また、「いいえ」を選択した場合、ご意見があればご記入ください。

### 【基本的な方向性2】の具体化案

#### (1) 新校舎への通学について

\*小学生：徒歩通学を基本とし、通学距離がおおむね4km以上の児童はスクールバス通学の対象とする方向で検討

…今後も通学距離をより短縮できるよう検討

\*中学生：自転車通学を基本とし、通学距離がおおむね6km以上程度の生徒はスクールバス通学を選択できる方向で検討

\*スクールバスでの通学時間は60分以内とする方向で検討

…今後も通学時間をより短縮できるよう運行方法を検討

\*乗降場所は児童生徒の安全が確保できる場所とする方向で検討

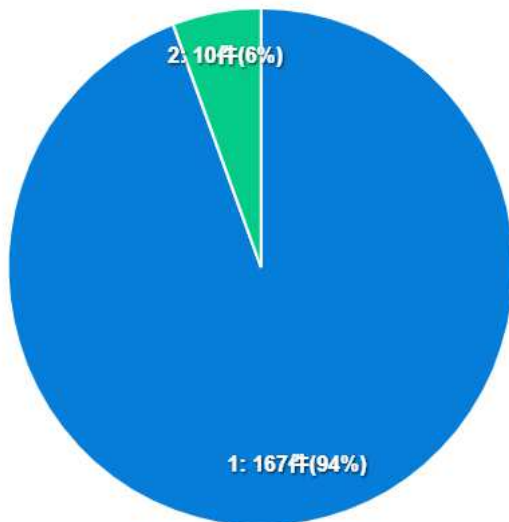
#### (2) 尾呂志学園への現在の校区外からの通学について

\*小学生・中学生ともにスクールバス利用の対象とする方向で検討

#### (3) スクールバス運行に係る費用について

\*原則として保護者負担なしとする方向で検討

### 《保護者の意見》



● 1. はい  
● 2. いいえ

	はい	いいえ
阿田和小学校区	63	5
御浜小学校区	88	5
神志山小学校区	9	0
尾呂志学園小学校区	7	0
計	167	10
割合 (%)	94%	6%

◎神志山小学校区

いいえの意見

その他の意見

バス停をもうけたスクールバス兼コミュニティバスでもいいので安全面（熊、猿、不審者）に配慮した通学手段を希望します。

## ◎御浜小学校区

## いいえの意見

スクールバス通学の対象が4km以上という点が、対象の距離が長すぎるため反対である。安全面や長時間の通学による熱中症のリスク等考えもう少し対象の距離を短くして欲しい。萩内方面に学校を建設するという噂があるが、市木や志原方面から徒歩で登校する児童は、野地本工業付近の横断歩道に信号がなく、道路が直線のためスピードを出し、歩行者がいても一時停止しない車が多く非常に危険。最悪の場合死亡事故が起こる可能性がある。また、その付近は津波や洪水・土砂災害マップの浸水区域であり、安全面に不安がある。子育て世代はマイホームを持ち始める世代であるが、せっかく現在の小中学校の近くに家を建てたにもかかわらず、場所が変わると、通学距離がかなり長くなり、スクールバスの送迎対象にもならない区間になってしまう世帯は、非常に悔しい気持ちである。スクールバスの対象にならなければ、結局は親が送り迎えをすることになり、共働きの家庭が多い中、親の負担が増えることになる。

スクールバスは今後維持費なども考え、今あるバス停まで歩きバス停から学校に行く事にした方が少人数になった時変わらないと思う。維持費より子供が歩かないと体力もつかず今後体力が心配。一般のお客さんがいた方が子供の体調不良なども気付いてもらいやすい。一般を使うことで町民と交流があり町全体で子供を育てる温かな雰囲気町になりそうで期待したいです。

4kmを小学生が歩いて毎日通学するのは現実的に厳しいと思うからです。

新校舎への通学についてですが、現在学校まで1.8kmで、徒歩30分かかります。今年の夏は特に暑く熱中症の心配がありました。通学距離が4kmまでが徒歩になると1時間は歩く事になります。徒歩の距離を短くしていただきたいです。

『(1)新校舎への通学について』に書かれている通学距離、おおむね4km以内でも必要と思われる家庭があると思う。例えば、余り家や車が通らないなど、通学途中で大人の目に触れないなど。

## その他の意見

低学年に4キロの距離は、大丈夫なのではないでしょうか?!とくに夏

スクールバスの運行が4km以上の児童が対象とのことですが、ここ最近の夏の暑さも考えて夏場の徒歩登校は厳しいのではないのでしょうか。熱中症心配です。2km以上からスクールバス希望です。

途中で早退する必要が出てきた場合もバス送迎が可能になるよう柔軟な運行をお願いしたい。その場合は、例外として保護者に負担を求める必要はあると思います。(朝の登校も都合等で遅れてしまう場合も含める。)

部活動などで違う中学校に転校した子供の交通費も半額負担するなど頑張っている子供応援補助金などがあると子供のやりたい!を育てれると思います。

バスに乗れる乗れないの線引きは距離だけではなく多様な議論をお願いしたいです。悪天候の時や、早退時のこととか。

施行令では、4kmと6kmとなっているが、実態に合わせて柔軟に対応して欲しいです。

尾呂志学園の立ち位置が分かっておりませんが、通学は可能な限り親の送り迎えなしで行える方が良くと思います。屋根ありの集合地をルート化し、そちらまでは各自で行くことが望ましいです。

通学の時、費用が掛かっても、そちらの方が安心できると思っているご家庭があれば、スクールバスを利用したいかどうか聞く。スクールバスの運行道路上で、近くに小学生がいないなどある程度の条件は必要。

## ◎阿田和小学校区

## いいえの意見

公費スクールバスは最低条件だと思うのでその意見には賛成だが、自分の感覚的に4kmも小学生を歩かせるのは遠すぎると感じる。これでは保護者の負担を増やすことにつながし、通学時間での格差ができるのではと心配である。

成人で徒歩80メートル1分であれば小学生ではもっと時間がかかる。成人で4000メートル歩いて50分とすれば小学生低学年となると相当時間を要すると思います。悪天候時など更に時間を要するし安全面でも懸念があるのでスクールバス対象者の範囲はもっと広げるべき。

スクールバスで60分以内。通うだけで疲れる。朝早く支度をしなければならないし。帰りも真っ暗で、どこで乗り降りできるのか具体的ではないので心配。

- (1) 夏場の気温を考えると、小学生に4km歩かせるのは危険。2kmまでにすべき。
- (2) 中学生でも、夏場の気温を考えると、4kmまでにすべき。
- (3) 賛成

スクールバス利用対象の距離が遠すぎる。距離を短くして対象者を増やして欲しい。小学生概ね4キロ未満徒歩、中学生概ね6キロ未満自転車通学は子供達が大変だと思う。ランドセルや荷物を沢山持って登校は大変。自宅が遠く、スクールバス対象にならない家庭は親が送迎する事になり、負担が増えると予想される。

## その他の意見

スクールバスの対象ですが、小学生の片道おおむね4キロは長いように思いますので短縮を是非ご検討ください

賛成の立場で意見させていただきます。通学距離をより短縮できるよう検討とありますので、是非短縮していただきたい。小学生低学年の子どもたちは3kmでも徒歩での通学は大変だと思いますので、低学年は2km以上は対象にするなど。

スクールバスが可能となる距離について、遠すぎるように思います。再考をお願いします。

昔と違って夏はかなりの暑さだと思います。スクールバスにのれるのは4キロ以上の児童だけなのはちょっと、と思います。1度大人も子供と同じように炎天下の中1時間以上歩いてみて下さい。子供は大人より歩くのに時間もかかります。もうすこし短縮するべきだと思います。

具体化案のようにするのであれば、大規模な区画整理、再開発が必要。

スクールバス利用対象は遠くても3キロ以上だと思う。

## ◎尾呂志学園小学校区

## いいえの意見

## その他の意見

## 《町民の意見》

◎御浜小学校区居住の町民の方

スクールバスの運行について、現状の徒歩の通学状況を考慮して「今より歩く距離が増えて通学が辛い」状況にならないよう配慮できればよいと思います。

保護者負担は無いのがよいと思いますが、その負担は町民全体で担うことになるので、バスの多目的利用（児童生徒以外も乗れるコミュニティバスのような利用、公共物（学校・支所・連絡所・松濤園・清掃センター・診療所、紀南病院、郵便局などからの文書や荷物）の役場への輸送など）や広告収入、ネーミングライツ、企業版ふるさと納税の募集などの負担軽減策を導入すれば、ユニークな事例として、町や町の教育環境のPRになるとと思います。

集合場所は風雨を避けられる屋根があればいいと思います。

保護者負担なしのスクールバスでいいのでは。

◎阿田和小学校区居住の町民の方

子ども達の為にも早期実現を期待しています

※回答いただいた意見はすべて掲載させていただきました。みなさまからのご意見は今後の適正化計画（素案）の検討に当たって参考にさせていただく予定です。

※町外から通学する児童生徒のスクールバス利用に関する要望もありましたが、個人が特定される可能性があるため掲載していません。また、アンケートの趣旨から外れた意見についても、ご意見としてはお受けしましたが、掲載はしていません。